

1. 課題名

脊椎インプラントにおける椎体間ケージ材質の差異による癒合の違い

2. 担当科 申請者

整形外科 黒須 健太

3. 研究期間

2016年6月6日から2021年2月29日

4. 目的

脊椎インプラント手術において、チタンコーティングを施した椎体間ケージを使用する事で、骨癒合の促進作用、偽関節の減少、スクリューの弛みの防止と臨床成績の改善が得られるかを検討すること。

対象患者：腰椎変性疾患（腰部脊柱管狭窄症、腰椎椎間板ヘルニア、腰椎神経根症、腰椎迂り症、腰椎分離症、腰椎分離迂り症、腰椎後側弯症、腰椎後弯症）の方

5. 利用又は提供する試料・情報、提供方法

試料・情報：患者情報、血液、画像データ、検査データ

提供方法：郵送

6. 研究代表者

浜松医科大学 整形外科 松山 幸弘

7. 個人情報管理者

浜松医科大学 整形外科 松山 幸弘

8. 倫理委員会

本研究の実施については平成28年6月6日に当院医療倫理審査委員会（迅速審査）にて承認された。

<当施設の研究責任者（相談窓口）>

所 属： 整形外科

研究責任医師： 黒須 健太

電話番号： 054-253-3125（代表）

<研究に関する資料の入手や閲覧・問い合わせ>

相談窓口： 臨床試験管理センター

電話番号： 054-253-3125（代表）

F A X : 054-253-8206